

会 議 録

会議の名称	平成30年度 第1回西東京市スポーツ推進審議会
開催日時	平成30年5月9日(水) 18時00分から19時30分まで
開催場所	保谷庁舎 1階会議室
出席者	(委員) 北岡会長、吉田委員、飯塚委員、姉松委員、村上委員、林委員、岡田委員 (欠席委員：早川委員、山縣委員、川村委員) (事務局) 宮坂課長、工藤課長補佐、本谷主任
議 題	1 平成30年度スポーツ振興課予算概要及び事業計画について 2 平成30年度スポーツ・運動施設事業計画書について
会議資料の名称	【当日配付資料】 資料1 平成30年度スポーツ振興課予算概要 資料2 平成30年度スポーツ・運動施設事業計画書 平成29年度西東京市スポーツ推進委員会活動記録 【事前送付資料】 平成29年度第5回西東京市スポーツ推進審議会会議録
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会 議 内 容	
<p>1 開会</p> <p>○会長 ただいまより、平成30年度第1回スポーツ推進審議会を開会する。 本日は、早川委員、山縣委員、川村委員より欠席の報告を受けている。</p> <p>○スポーツ振興課長 本日は、今年度のスポーツ振興課予算概要及び指定管理者の事業計画の報告を主な内容とする。 4月1日付で都立田無工業高等学校長の人事異動があったため、委員が代わった。新委員は改めて紹介する。</p> <p>○事務局 資料の確認 平成29年度西東京市スポーツ推進委員会活動記録及び指定管理者事業チラシの紹介</p>	

2 議題

(1) 平成30年度スポーツ振興課予算概要及び事業計画について

○会長

事務局から説明をお願いします。

○事務局

資料1「平成30年度スポーツ振興課予算概要」の説明

市全体については、厳しい財政状況を踏まえ、基金に過度に依存しない予算となった。

スポーツ振興課の予算についても、対前年比で削減されている。

主な歳入は、施設の自動販売機や電柱等に係る行政財産使用料及び東京都補助金のスポーツ振興等事業費である。

主な歳出は、体育施設運営費が約8割を占めており、体育施設の指定管理料である。対前年度比で14,673千円削減されており、指定管理者が変更したことによる圧縮という見方もできる。

続いて、事業計画を説明する。スポーツ推進審議会においては、これまでの審議内容の他に、今年度に庁内で検討するスポーツ・運動施設10施設の老朽化対応や配置等のあり方の結果等についてもご意見を伺いたい。

スポーツ事業では、オランダ連携事業を昨年に引き続き事業を実施する。事業では、障害者や児童・生徒との連携を図っていききたい。また、西東京市リレーマラソン大会については、昨年度は、116チーム1000人の参加があり、好評をいただいた。その他の事業も含めたオリンピック・パラリンピック事業等事業費は、東京都から補助金上限を受けており、有効的な予算執行に努めたい。今年度も各種事業を通して、市民にスポーツの楽しみを広げて参りたい。

○会長

委員から質問・意見等あるか。

○委員

スポーツ推進委員活動記録を拝見したが、スポーツ推進委員には年齢制限があるのか。

子どもの参加や動きのある活動であるが、規制がないのか

○事務局

年齢制限はない。採用に際しては、書類審査の他に面接を行い、適正を判断している。

スポーツ推進委員が担当する事業は様々あり、各委員の得意なことを活かせるように担当を割り振っている。

○委員

平均年齢はどれくらいか。

○事務局

試算をしていないので、不明である。

○委員

推進委員が引退する年齢が以前はあったと思う。高齢の委員が入ってくると逆に気を使うという話も聞いた。概ねの上限の年齢は決めておいても良いのではないか。

○事務局

推進委員が活動している様子からは、委員一人ひとりのスポーツ推進に向けての強い意志を感じる。東京オリンピック・パラリンピック大会に向けて、ボランティアとして参加する人の育成も考えていかなければならないと感じている。

○委員

委員として報酬を受けて活動し、他の自治体より待遇が良いので、きちんと活動できる方に推進員をやっていただきたいと感じる。

○委員

市では、早稲田大学野球教室や少年野球・サッカー大会などに力を入れていると思うが、近年、団体競技の人口が減ってきている。一方で、バドミントンや卓球など個人競技が増えているので、隔年実施でも良いので個人競技の事業を体育協会への委託事業を増やせるか。

また、中学校の部活動でも団体競技に興味がない人が多いと聞く。どうしたら団体競技の楽しみを分かってもらえるかが課題であると感じる。

○委員

少年野球・サッカー大会は少なくとも西東京市誕生以来継続して実施している。

○事務局

団体競技のチームを成立させるための人数が集まらないという話も聞く。地域にスポーツができる受け皿も作っていかなければならないと思う。テニスや卓球のように、国際大会等で活躍している若手のスター選手が子どもたちの憧れになり、競技人口の増加にもつながっていると思う。

また、早稲田大学野球部OBによる「ASO-VIVA WASEDA」というイベントが年間4～5回程度、早稲田大学東伏見キャンパスで開催されている。安部球場にて野球遊びや人工芝で自由に遊ぶ内容となっており、親子で楽しみ、子どもの運動能力を高める機会になっている。

○委員

中学校では、部活動の意向調査をしておらず、地域のチームに所属している可能性もあるので、単純にチームプレーが減っているかは分からない。学校によっては、野球部やソフトボール部が単独でチームを作ることができなかつたり、団体競技で東京都大会に出場した強豪チームが、数年後に部員数が減ってしまうこともある。

また、最近では、教員のワークライフバランスの問題もあり、部活動を増やせない現状もある。全ての傾向を把握し切れていない。

○会長

基本運動80種を10歳までに経験する必要がある、テニスの利き腕を知らない学生もいる。楽しみの体験の場がないまま大きくなっている学生がいるのは事実である。

幼稚園や小学校教育から考える必要がある。教育全体の問題・課題なのだと感じる。

(2) 平成30年度スポーツ・運動施設事業計画書について

○会長

事務局から説明をお願いします。

○事務局

資料2「西東京市スポーツ・運動施設 平成30年度事業計画書」の説明

- ・指定管理業務の開始にあたり、全社員を対象に研修を実施した。
- ・スポーツセンター、総合体育館のトレーニング室のマシンを全て入れ替えた。
- ・利用料金、開館時間等に変更はない。
- ・指定管理者によるスポーツ施設等のホームページを開設した。教室の申込方法を検討し、利便性やサービスの向上を図る。
- ・施設の遠方にお住まいの方へのサービスとして、教室事業利用者を対象に、庁舎の有料駐車場を追加で1時間無料とするサービスを行う。

- ・スポーツ振興事業は、東京ドームグループのスケールメリットを活かす。市外のイベントとして、東京ドームで開催される親善少年野球試合が予定されている。教室事業については、前指定管理者の200事業程度を維持する。
- ・体育協会や総合型地域スポーツクラブ等社会体育活動に関する普及・育成等を行う。
- ・早稲田大学と連携したウォーキング事業の実施が予定されている。

- ・不審者から守るためにあいさつを心がけるなどスタッフに教育し、利用者の安全確保に努める。
- ・利用者の意見の反映や東京ドームグループ専門部署による自己評価等を行う。
- ・スポーツセンター、総合体育館、きらっとの実施体制は、館長のもとに副館長2名を配置し、以前より責任者が増えた。
- ・収支状況の報告に基づき、収入額が支出額を上回った場合、収入額からのうち2分の1に相当する金額を市に支払う。

○委員

収支について、スポーツ施設の利用料は指定管理者の収入になっているのか。

○事務局

スポーツ施設の利用料は、指定管理者の収入となる。決算時に、収入額が支出額を上回った場合、収入額からのうち2分の1に相当する金額を市に支払われ、市の歳入に反映される。

○委員

備品の購入は、指定管理料から支出しているのか。

指定管理者が変更され、体育協会が借用していた備品等の貸出対応に変更がないか不安である。

○事務局

協定書において、指定管理期間中に指定管理者が購入したものは、指定管理者が撤去することとなっているが、協議により市が引き継ぐことは可能とされているので、今後は問題が起こらないように対応したい。

(3) その他

○会長

事務局から説明をお願いします。

○事務局

平成 29 年度第 5 回会議録について、ご承認をいただきたい。

○委員

一同了承

○会長

以上で本日の審議会は、閉会とする。